

エアロゾル先端計測研究会 第1回会合

主催：日本エアロゾル学会

代表：竹川 暢之（東京大学先端科学技術研究センター）

副代表：櫻井 博（産業技術総合研究所）

【エアロゾル先端計測研究会の設立趣意】

エアロゾルは気候変動や大気汚染に多大な影響を及ぼす。エアロゾルの動態を理解する上で新しい計測技術の開発が果たす役割は極めて大きい。一方、装置やデータ解析法の開発、さらには計測の標準化に至るまで、欧米主導で行われているという現実は憂慮すべきである。発起人らが2012年3月に関係者を招いて実施したセミナー「粒径別に見るエアロゾル計測」の席上においても、上記の点は共通の問題として改めて認識された。本研究会は、日本発のエアロゾル計測技術の開発や、新しい研究領域の開拓を後押しすることを目指し、産官学の関係者が垣根を越えて議論・情報共有ができる場を提供することを主な目的とする。また、個別の研究開発に加えて、エアロゾル計測コミュニティ全体として社会ニーズにどう応えるべきかなど俯瞰的な立場の議論も行いたい。

【設立時研究会メンバー 逆50音順】

持田 陸宏（名古屋大学）、

中山 智喜 名古屋大学

長門 研吉 高知工業高等専門学校

竹川 暢之 東京大学先端科学技術研究センター

高見 昭憲 国立環境研究所

瀬戸 章文 金沢大学

櫻井 博 産業技術総合研究所

金谷 有剛 海洋研究開発機構

奥山 喜久夫 広島大学

萩 崇 広島大学

榎原 研正 産業技術総合研究所

飯田 健次郎 産業技術総合研究所

（第1回会合については次のページをご覧ください）

第 1 回会合の内容

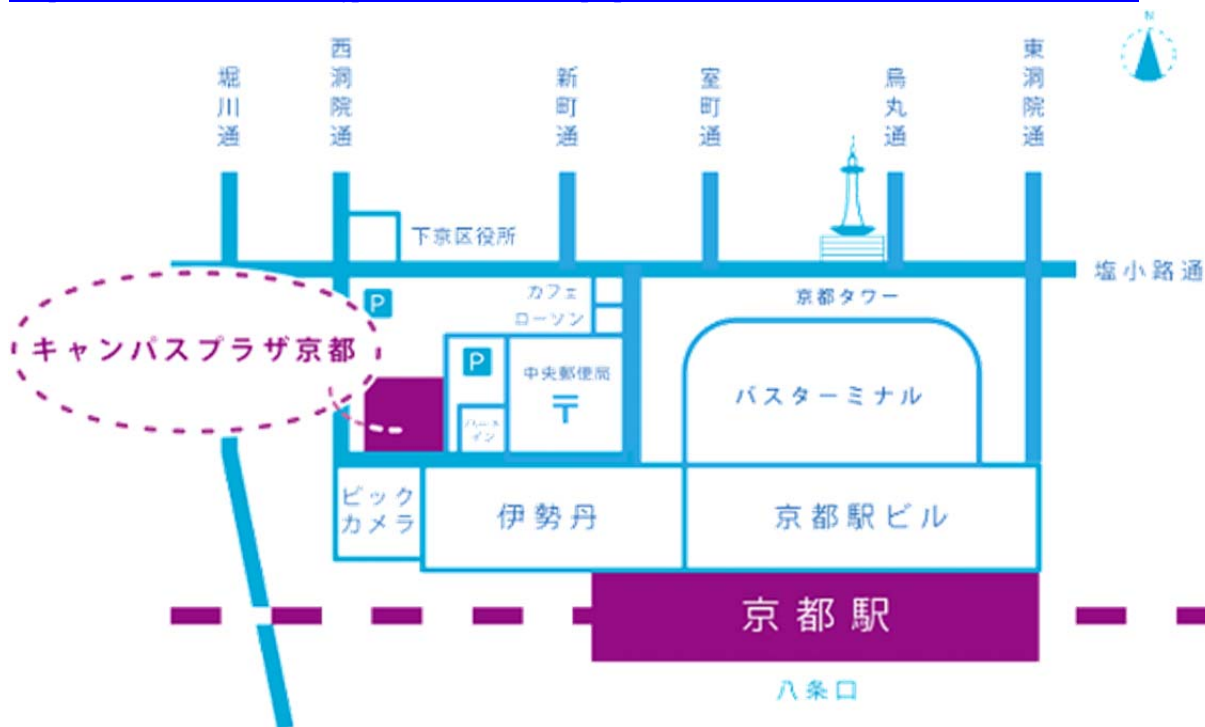
- 趣旨説明・計画：竹川 暢之（東京大学）
- 話題提供および議論
 - 話題 1. 「大気エアロゾル粒子の気候とのつながりを探る：先端的計測・分析法の役割と課題」
持田 陸宏（名古屋大学）
 - 話題 2. 「PM2.5 の測定精度保証と新規計測機器開発に向けたプロジェクトの提案」
桜井 博（産業技術総合研究所）
 - 話題 3. 研究会メンバーによる任意の話題提供

日 時：2014 年 3 月 7 日(金) 13 時 30 分～16 時 30 分

場 所：キャンパスプラザ京都 2 階 第 3 会議室

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=585&frmCd=14-3-0-0-0



※ビックカメラ前、JR 京都駅ビル駐車場西側

※京都市営地下鉄烏丸線「京都駅」、JR「京都駅」、近鉄「京都駅」下車。徒歩 5 分。

参加費：無料

お申込み：2 月 24 日（月）までに産業技術総合研究所 飯田健次郎(e-mail: kenjiro.iida@aist.go.jp)までご連絡ください。人数が定員に達した時点で、第 1 回会合への参加申し込みは締切とさせていただきます。また、研究会メンバーへの登録をご希望の方は、その旨お伝えください。